

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	ながおか医療生活共同組合	代表者	羽賀 正人	法人・事業所の特徴	長岡市内で複数の診療所や多数の高齢者施設を運営する医療生活協同組合が平成19年に開設した小規模多機能型居宅介護施設である。認知症対応型共同生活介護が併設されている他、同じ法人の通所介護や介護付（混合型）有料老人ホームも隣設されており、互いに協力・連携して運営されている。また、経営母体の診療所とは日頃から緊密な連絡をとり情報を共有し、適切な医療が受けられるよう支援している。
事業所名	プラット笹崎	管理者	田中 太一		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	1人	1人	1人	0人	1人	1人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ●スタッフ評価や事業所評価項目に対する職員の理解度に差があるため、昨年度に引き続き評価前に学習会を開催する。 ●事業所自己評価の改善計画の進捗状況を、3ヶ月ごとに事業所会議にて確認し、確実に実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●学習会を開催し、評価項目を全職員が理解した上で評価を行った。 ●3ヶ月に1回、事業所会議にて改善計画の進捗状況を確認し実施に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●常勤のスタッフ全員で評価している事を、配布資料で確認した。その意見を事業所評価に反映していたと思う。 ●定期的に職員の異動があるようなので、毎年評価前に学習会を開催して欲しい。 ●取組みが行えなかった計画は、次年度に実践すると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●スタッフ評価や事業所評価項目に対する職員の理解度（異動・介護経験年数）に差があるため、評価前に学習会を開催する。 ●利用者家族アンケートを実施し、その結果から業務改善に繋げる。（3月、8月）
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者・家族アンケートを継続実施し、その結果から事業所で過ごし易い環境を整備する。（年2回、3月・8月実施） ●利用者が安全に過ごしていただけるよう、必要に応じ設備、備品の入れ替えを検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者・家族アンケートの意見を元に、利用者が過ごしやすい環境を整備した。 ●ホールや居室の空調や加湿器、歩行不安定者が使用する赤外線センサーを入れ替える等、利用者が安全安心に過ごせる環境を整備した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●事業所を訪ねた時は、明るい挨拶で迎えて下さる。不快な匂いはない。 ●日中に施錠されていないことは知っている。 ●季節を感じる空間となっている。今年は玄関に大きな鯉のぼりが飾られ良かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ホールや玄関などの壁面に季節に応じた飾り付けを行い心地よい空間を意識する。 ●ホールや居室から四季を感じられるよう、季節の植物を花壇に植える。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ●町内の総会等で事業所に関する説明や地域向け広報誌にて事業所での取組みを報告し、気軽に立ち寄り相談できる拠点を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ●事業所の都合で町内の総会に参加が出来なかったが、年4回広報誌を発行し、事業所の取組みを報告した。また町内の清掃活動に参加し地域住民との関わりが持てた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●広報誌に写真を載せて発行するスタイルが良い。事業所が何を行っている所なのか発信されている。 ●町内によって広報誌の回覧を営業活動に捉えられる場合がある。 ●コロナウイルスの影響で地域のイベントに参加していない。 ●町内では知られているが、全体では？ 	<ul style="list-style-type: none"> ●事業所の概要を掲載した広報誌やPR誌を回覧し、地域の身近な事業所である事をお知らせする。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ●地域資源マップを作成し、利用者個々が暮らしている地域資源を把握し活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域資源マップを作成し、地域資源の把握に努めた。しかし、利用者個々が暮らしているインフォーマルサービスの把握は不十分で、活用までには至らなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域を交えた会議は運営推進会議が該当すると思うので、実践されている。 ●コロナウイルスの影響で、外出が出来ず残念だった。 ●利用者それぞれの地域に出向くことは難しいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者個々が暮らしている地域への外出や外食を企画する。 ●利用者を支えて頂いている近隣の方へ、訪問や送迎時、積極的に挨拶し関係作りに努める。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ●運営推進会議にて寄せられた提案や意見は、事業所会議にて検討実践し、次回会議で報告する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●運営推進会議に寄せられた提案や意見については、改善した内容など次回会議にて報告した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●事業所近辺に高齢者は少なく、特に心配の方はいない。 ●会議の資料で状況がわかる。 ●利用者以外の方の困り事に事業所が関わりを求められ負担に思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●困難事例や事業所で新たな取り組みをはじめようとする際、運営推進会議で報告し、助言をもらう場とする。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●事業所で実施する「AED講習会」に地域の方にも参加してもらえよう、地域向け広報誌にて案内を行う。地域の防災訓練に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、「AED講習会」の開催を中止した。地域が主催した防火訓練に参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●運営推進会議後に、水害や防災の訓練が行われ確認している。 ●事業所職員が町内の防災訓練に参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●事業所で実施する「AED講習会」に地域の方にも参加してもらえよう、地域向け広報誌にて案内する。 ●原子力災害に備えマニュアルを整備する。原子力災害時避難訓練を実施する。
----------------------------	--	---	---	--